

平成 2 5 年 度 同 好 会 事 業 報 告

理 科 同 好 会 世 話 係 名 湯 本 正 芳 会 長 名 北 澤 佳 一

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参 加 人 員
7 月 31 日	夏 期 講 習 会 （ 上 級 C S T 養 成 プ ロ グ ラ ム ）	1 1 人
8 月 12 日	上 級 C S T に よ る サ イ エ ン ス ・ ミ ー テ ィ ン グ ①	5 人
8 月 12 日	上 級 C S T に よ る サ イ エ ン ス ・ ミ ー テ ィ ン グ ②	7 人
12 月 14 日	実 践 研 究 か ら 学 ぶ 会	7 人
2 月 3 日	石 について 学 ぶ 会	7 人

理科同好会は、5 月 1 日（水）に会員 2 0 名で発足しました。

今年度の夏期講習会も、昨年度と同じく、上級コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラムと連携して開催することができました。

7 月 3 1 日（水）に、信州大学教育学部教授天谷健一先生を講師に迎え、「光と音」の講義を行っていただきました。まず、光の性質について、光の直進・反射・屈折を実際に実験しながら、考えていきました。その中で、蜃気楼ができる理由を具体物でわかりやすく教えていただきました。「逃げ水」のような身近な例と学習をどのようにつなげていけばよいか、理解を深めることができました。また、音についても具体物を通してわかりやすく教えていただきました。音は、気温の高い空気中の方が速く伝わるので、音も屈折することを学びました。除夜の鐘の音が広い範囲で聞こえるのは、冬の晴れた夜は、上空の気温が高いため、音が屈折し、遠くまで届くためだとよくわかりました。いずれも授業にいかせるヒントをたくさんいただいた講義でありました。

8 月 1 2 日（月）は、上級コア・サイエンス・ティーチャーである、長野市立通明小学校の中村敬次先生と下諏訪町立下諏訪社中学校の笠原大弘先生を講師に迎え、サイエンス・ミーティングを行いました。中村先生に

は、「月や星など興味を持って観察する方法の仕方」をテーマとして、老眼鏡を用いた望遠鏡の製作方法を教えていただきました。笠原先生には、「理科で使えるかんたんものづくり」をテーマとして、「ビニール袋とダンボールで作る簡単ホバークラフト」、「吸水性ポリマーで簡単燃料電池」、「CDで作るベンハムの独楽」などを教えていただきました。上級コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラムもサイエンス・ミーティングも、授業に役立つ内容で、とても中身の濃い会になりました。

上級コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラムやサイエンス・ミーティングで学んだことをいかして、これからも理科の面白さや奥深さを子どもたちに伝えていきたいと決意を新たにした夏期講習会でした。

（会長 北澤 佳一）

